

令和6年度 埼玉大学工学部第1回FD部会 議事要録

日時 令和6年7月31日(水) 9時00分～10時5分

場所 工学部研究交流サロン室(情報工学科棟)

出席者 荒居 善雄 部会長、山田 敏規 副部会長、奥井 義昭 学部長、金子 裕良 副学部長、馬 哲旺 教授、王 青躍 教授、八木澤 順治 准教授、山口 工学部係長、井田 工学部係員

1 前年度議事録の確認

- ・資料に基づき、確認された。

2 教員相互授業参観(オープンクラス)の実施について

・実施期間について、今年は10月28日(月)～11月8日(金)の2週間に実施することとした。また、教員の参加率向上のため、10月25日(金)に実施するFDシンポジウムにて教員相互授業参観(オープンクラス)について周知することとした。

・来年度の実施期間について、教員相互授業参観を行う機会を増加させるべきとの意見があり、輪番(3ターム→2ターム→4ターム1ターム)により第2タームに実施予定であったが、第2・4タームに実施することとした。

・実施期間の決定方法について、FD部会では実施タームのみを決定し、具体的な実施日については学部長・副学部長が相談のうえ決定することとした。また、教員が授業参観をする際に、授業の後半の回数であると、授業内容が難しく参観する教員も理解が難しくなるとの意見があり、実施期間を実施タームの第2・3週に固定するという案も出された。

3 FDシンポジウムについて

4 ベストレクチャー賞表彰について

・開催日時について、第1部を10月25日(金)15時～、第2部を1月24日(金)15時～とし、teamsと対面のハイブリッド形式で実施することとした。なお、開催日については、昨年同様教授会や運営会議の開催日程とあわせて実施することとした。

・講演内容は、「修学上の配慮」に関する講演を実施することとした。なお、講演者については、谷津 修一 准教授、又は谷津先生に推薦いただいた外部講師を候補とした。

・具体的な講演内容について、「修学上の配慮の実例」と「配慮学生への対応の仕方」について谷津先生に伺いたいとの意見があった。特に、必修の実験において実験の安全性を確保しつつ配慮学生にどのような対応をするか、他大学においてはどのような配慮が行われているのかについても確認し、今後工学部でも検討していきたいとの意見があった。また、事前に教員に対して「修学上の配慮について苦労している点」についてアンケートを実施し、それに回答していただく時間を設けるのはどうかという提案がされた。

・授業評価アンケートについて、最後の授業に回答時間を設ける、メールで学生に回答を呼びかける等の対策を実施しているが、依然として回答率が低いとの意見があった。そこで、ベストレクチャー賞受賞者に、どのように学生に回答を促しているのかご意見伺いたいと要望があった。

5 その他

- ・現在、授業評価アンケートに基づき教員の表彰等、フィードバックを実施しているのは工学部のみであり、先進的な取り組みだといえる。今後、さらに発展的なものにしていきたいとの意見があった。

(文責 工学部係 井田)